



窪田弘子 議員

東日本大震災の教訓から

防災について、ハザードマップは貴重な災害情報、町民の財産だ。役場に貼ったらどうか。

町長

転入者も多く、ハザードマップを知らない人も多い。避難場所、過去の災害についても整理し特別展等で公開していく。

池田温泉の避難訓練は。

町長

年2回やっているが、天井落下時の経験もふまえ、今後しっかりと対応する。

上下水道も一旦壊れると被害は大きい。地域の井戸や浄

化槽も大切ではないか。

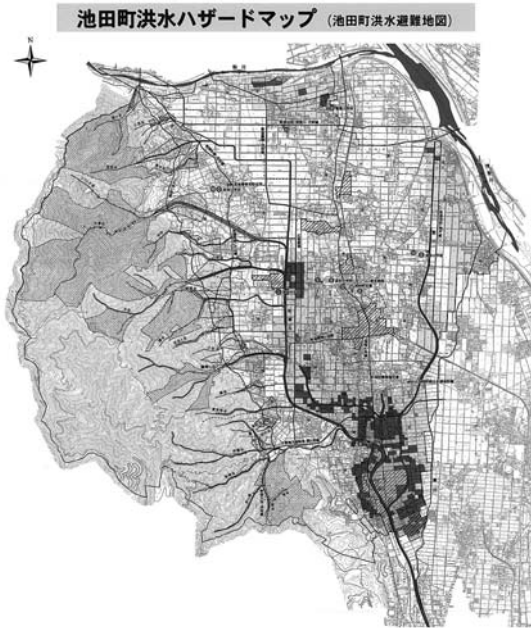
町長

上下水道の耐震化は県で1番だ。浄化槽は庁舎・公民館・道の駅など公共施設は残す。個人の井戸も使えるものは記録をとる必要がある。

節電の提案を2つ。30万円で出来る太陽熱温水器を町として奨励されたい。太陽光発電より熱変換効率は格段によく、エネルギーの地産地消といえる。今1つは町内の防犯灯をすべてLEDにしたらどうか。

町長

費用対効果を見ながら検討する。



平成18年全戸に配ったハザードマップ見直していく。



草刈るだけの南部公園を遊水公園にしたら？

南部公園を遊水公園としての将来像は？

南部公園が出来てから10年だが、現状は広い部分の草を刈るだけの維持管理地。今や環境の時代、遊水公園・親水公園として設計したらどうか。将来像がしっかりあれば、町民に希望もわくし、行政の無駄もない。

町長

全体で、7〜8千トンを貯める機能を持たせてあり、20年後、杭瀬川の改修ができた時を想定し、住民の方の安心と公共的に使えるように考えている。この1〜2年で植栽はしたい。

池田温泉、高齢者・障がい者の駐車場を近くに

福祉の湯として足腰の弱い方にも利用してもらいたい。特に新館の北側は障がい者用2台、ふくしの湯利用者専用2台しかなく、いつもふさがっている。みんな遠い駐車場から歩かねばならず、足腰が弱ったら新館は無理。平成15年に出来た物産売り場の3店の方々に今すぐではないけれど道の駅の方へなど、移転する事を話し合ってもらえないか。

町長

そういう話は聞いているが、店を残してほしいお客もみえ、逐次考える。障がい者用駐車場についてはもう少し何かしたい。